

エコアクション21
環境経営レポート

活動期間

2024年 4月～2025年 3月

発行日 2025年5月20日
改訂日 2025年6月23日

青木建設株式会社

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲(認証・登録範囲)
レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
- 6-①. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
- 6-②. 実施体制
- 7-①. 環境経営目標の実績
- 7-②. 環境経営計画の取組結果とその評価
- 7-③. 次年度の環境目標
- 7-④. 次年度の環境経営計画
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟などの有無
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示
10. エコ活動

1. 組織の概要

1. 事業所名 青木建設株式会社
代表者名 代表取締役 青木 久議
2. 創業 昭和 23年 5月 1日
設立 昭和 42年 4月 15日
3. 資本金 20百万円
4. 従業員数 26人
5. 所在地 本社：〒441-2523 愛知県豊田市御所貝津町二貫目22番地
TEL 0565-82-2561 FAX 0565-82-3039
資材置場：愛知県豊田市黒田町向イ96-124
6. 環境管理責任者 EA21担当 青木 幹男 ※ 連絡先は所在地と同じ
E-mail : kouji@aokikensetsukk.co.jp
7. 事業内容 土木構造物及び建築物の設計・施工
8. 建設業許可等 特定建設業（特-23）第2762号
許可年月日 令和3年11月15日 有効期限 令和8年11月14日
土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業
舗装工事業、塗装工事業、防水工事業、水道施設工事業
大工工事業、左官工事業、石工事業、屋根工事業
タイル・れんが・ブロック工事業、しゅんせつ工事業
板金工事業、内装仕上工事業、建具工事業
一般建設業（般-23）第2762号
管工事業
産業廃棄物収集運搬業許可
愛知県 許可番号第02300121743号
許可年月日 令和2年12月7日 有効期限 令和7年11月21日
※ 下請工事を施工する際、収集運搬業許可が必要なため取得していますが、収集運搬業としては営業をしておりません。

9. 事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
従業員	人	23	24	26
売上高	百万円	793	478	466

※ 会計年度 前年8月1日～当年7月31日

2. 対象範囲(認証・登録範囲)レポートの対象期間及び発行日

- ・ 認証・登録の対象範囲 青木建設株式会社 全組織・全活動
- ・ レポートの対象期間 2024年4月～2025年3月
- ・ レポートの発行日 2025年5月20日
- ・ 改訂日 2025年6月23日

3. 環境経営方針

I. 環境理念

当社は、愛知県、豊田市、及び民間から発注される土木建設業の工事を中心に、地域の安全と社会への貢献を目的とし、地元から愛される会社を目指し事業活動を展開して参りました。その中で、深刻化する地球温暖化など、環境負荷の低減が重要課題との認識にたち、社員一丸となり積極的に、環境保全活動に取り組み、より良い地球環境の実現と企業の発展を目指していきます。

II. 環境保全への行動指針

- ① 環境経営目標・計画を定め、環境負荷の削減に努めます。
 - ・ 二酸化炭素排出量の削減(電力・化石燃料の使用量削減)
 - ・ 事務所における廃棄物の再資源化の推進
 - ・ 現場における廃棄物の適正処理
 - ・ 節水を意識し水使用量の削減
 - ・ 化学物質の適正管理
 - ・ 再生建設資材の利用推進
 - ・ 地域貢献活動への参加
- ② 環境関連法規制、その他会社が合意した事項を遵守します。
- ③ 確実な環境マネジメントシステムの運用により継続的改善に努めます。
- ④ 環境への取り組みを環境経営レポートとして作成し、公表します。

制定日：2010年 1月 1日
改定日：2019年 7月 8日

青木建設株式会社
代表取締役 青木 久議

4. 環境経営目標

作成日 2024年6月28日

作成者 青木 幹男

項目		年度	2019年度～ 2021年度平均	2022年度	2023年度	2024年度
			基準年度	基準年度比-1%	基準年度比-2%	基準年度比-3%
①電気使用量の削減 kWh			12,590	12,464	12,338	12,212
②化石燃料の削減	ガソリン使用量の削減 ℓ	事務所	4,893 ※1	4,844	4,795	4,746
		現場	14,063	13,922	13,782	13,641
	軽油使用量の削減 ℓ	事務所	6,490 ※1	—	—	6,295
		現場	17,567	17,391	17,216	17,040
	灯油使用量の削減 ℓ	事務所	3,924	3,885	3,846	3,806
	二酸化炭素総排出量の削減 kg-CO ₂			121,179	119,967	118,755
廃棄物の削減	事務所廃棄物の削減 kg		147	146	144	143
	建設廃棄物の再資源化 %		93%以上	93%以上	93%以上	93%以上
水使用量の削減 m ³			54	54	54	54

※ 2022年度から2024年度までの3年間で基準年度比3%の削減を目指す

※ 建設廃棄物の再資源化、水使用量は現状レベルの維持とする。

※ 年度は、当年4月1日～翌年3月31日（例:2024年度は、2024年4月1日～2025年3月31日）

※ 電気使用量のCO₂ 排出係数は中部電力(株)2019年度調整後排出係数0.426(kg-CO₂/kWh)

※ 化学物質の適正管理、再生建設資材の利用推進(発注元の要望)、地域貢献活動への参加は数値目標は定めない。

※ ※1は事務所の社用車が軽油使用からガソリン使用に変更になったため基準値は2023年度に設定

5. 環境経営計画

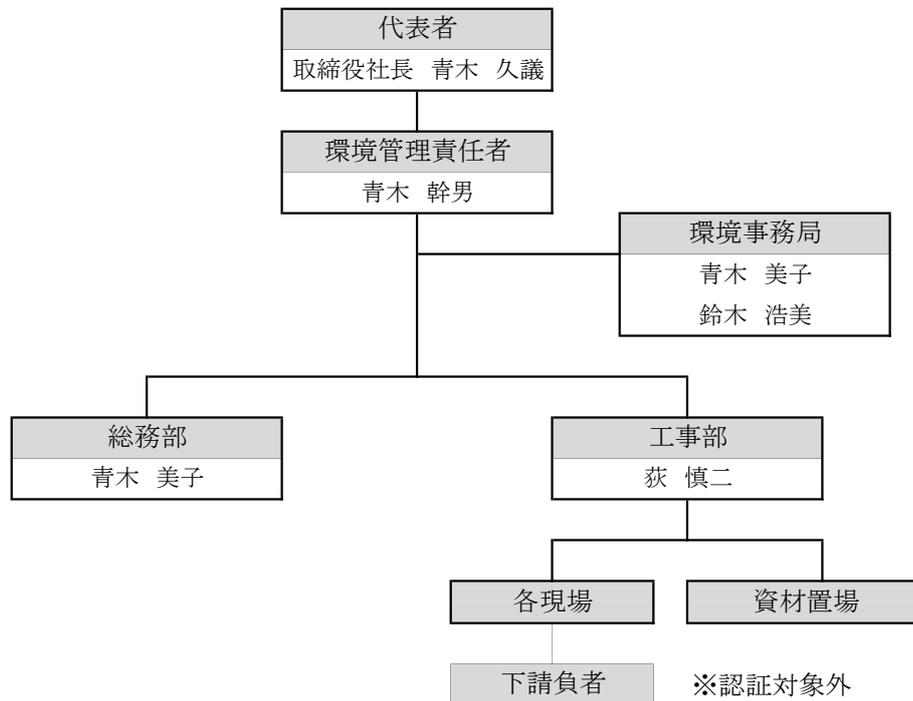
取組期間: 2024年4月～2025年3月

・ 二酸化炭素排出量削減		担当
電気量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ クールビズの推奨 ・ 休憩時、不要照明の消灯 ・ 夏場のエアコンの設定温度28℃以上 ・ うち水、緑のカーテン ・ 休憩時等不使用時の電気製品電源オフ設定 ・ エアコンのフィルター清掃 ・ 冬場の暖房の設定温度20℃以下 ・ ウォームビズの推奨 	環境事務局 全従業員 // 事務所 // // // //	
化石燃料の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングストップ、冷暖房の控えめ使用 ・ 低排出ガス対策型の使用 ・ エコドライブの推奨(急発進・急停止の抑制) ・ 石油ストーブの設定温度20℃以下 ・ ウォームビズの推奨 ・ 現場事務所の石油ストーブを休憩時間以外停止 	全従業員 // // // // //	
・ 廃棄物排出量の削減		
事務所廃棄物の再資源化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別によるリサイクル率向上 ・ 両面コピー・裏紙使用の徹底、電子メールの活用によるペーパーレス化 ・ 封筒の再利用 ・ 使用済みのトナーカートリッジのリサイクル 現場廃棄物の適正処理(再資源化率93%以上) <ul style="list-style-type: none"> ・ マニフェストによる適正処理 	全従業員 // 環境事務局 // 全従業員	
・ 排水量の削減		
水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水の呼び掛け ・ 漏水の定期点検 ・ トイレの大小レバーの使い分け ・ 食器洗浄時、桶などに水をためて洗う 	環境事務局 全従業員 // 事務所	
・ その他 環境への取り組み		
環境美化活動・環境配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な事務所周辺の清掃活動 ・ 工事現場周辺の清掃活動 ・ 低騒音・低振動重機の使用 化学物質の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学物質の把握・適正管理 再生建設資材の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン商品の積極的購入、RC40等リサイクル材の利用 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ エコキャップ運動 ・ エコドライブの実施 	全従業員 現場責任者 // 現場責任者 全従業員 全従業員	

6-②.実施体制

作成責任者 青木 幹男

承認 代表取締役 青木 久議



※ 適用範囲 : 本社・資材置き場及び各工事現場

役割	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営レポートの承認 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 資源(人員、設備、費用等)の準備 環境管理責任者の任命 環境管理責任者の任命など実施体制の構築 環境経営システムに必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・運用・維持・代表者への報告 環境経営レポートの確認 活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連法規のとりまとめ、遵守評価の実施 環境活動の実績集計、環境経営レポートの作成・責任者への報告 廃棄物、電気、水道、化石燃料の管理 外部からの苦情・要望の受付窓口
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 緊急事態への対応のためのテスト、訓練を実施、記録の作成、管理、報告
現場責任者 (各現場)	<ul style="list-style-type: none"> 各現場における環境経営方針の周知 各現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の記録、報告
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚

7-①.環境経営目標の実績

作成者 青木 幹男

項目		年度	2019年度～ 2021年度平均 ※1	2024年度 目標	2024年度 実績	目標に 対する 評価	基準年 度比 削減率 %
			基準値	目標: 基準年度比-3%	—		
①電気使用量の削減 kWh			12,590	12,212	13,189	×	4.8%
②化石燃料の削減	ガソリン使用量の削減 ℓ	事務所	4,893 ※1	4,746	4,445	○	-9.2%
		現場	14,063	13,641	12,704	○	-9.7%
	軽油使用量の削減 ℓ	事務所	6,490 ※1	6,295	4,006	○	-38.3%
		現場	17,567	17,040	18,207	×	3.6%
	灯油使用量の削減 ℓ	事務所	3,924	3,806	3,143	○	-19.9%
二酸化炭素総排出量の削減 kg-CO ₂			121,179	117,544	110,537	○	-8.8%
廃棄物の削減	事務所廃棄物の削減 kg		147	143	138	○	-6.1%
	建設廃棄物の再資源化 %		93%以上	93%以上	93%以上	○	-
水使用量の削減 m ³			54	54	58	×	7.4%

○:目標達成 ×:目標未達 △:目標未達成だが基準年度より削減できた

※ 廃棄物、水使用量は現状レベルの維持とする。

※ 年度は、当年4月1日～翌年3月31日（例:2024年度は、2024年4月1日～2025年3月31日）

※ 電気使用量のCO₂ 排出係数は中部電力(株)2019年度調整後排出係数0.426(kg-CO₂/kWh)

※ 化学物質の適正管理、再生建設資材の利用推進(発注元の要望)、地域貢献活動への参加は数値目標は定めない。

※ ※1は事務所の社用車が軽油使用からガソリン使用に変更になったため基準値は2023年度に設定

7-②.環境経営計画の取組結果とその評価

・二酸化炭素排出量削減	
環境経営計画・取組	評価
電気量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの推奨 ・休憩時、不要照明の消灯 ・夏場のエアコンの設定温度28℃以上 ・うち水、緑のカーテン ・休憩時等不使用時の電気製品電源オフ ・エアコンのフィルター清掃 ・冬場の暖房の設定温度20℃以下 ・ウォームビズの推奨 	<p>目標は達成できなかったが 夏場は、できるだけ気温が高くなる時間帯にエアコンを使用し、その他の時間は窓を開け外の風をいれるようにした。冬場は、室内が暖かくなったら暖房を下げるか切るようにした。衣服、ひざ掛けで調整した。 5月になっても気温が低い日があり暖房を使用した 今後は、目標値に近づけるよう、節電を意識し取組む。</p>
化石燃料の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ、冷暖房の控えめ使用 ・低排出ガス対策型の使用 ・エコドライブの推奨 ・石油ストーブの設定温度20℃以下 ・ウォームビズの推奨 ・現場事務所の石油ストーブを休憩時間以外停止 	<p>ガソリン:事務所、現場ともに目標を達成できた。 軽油:工事内容で変化はあるが使用量は増えた。 昨年度、事務所の軽油使用が追加になったが、使用をやめたため使用量に変化があった。 基準値の検討が必要 灯油:目標は達成したが寒い日が多く使用回数は多かった。 工事の内容・場所で使用量は変動するが、エコドライブなど、できることをし削減に努めていく。</p>
・廃棄物排出量の削減	
事務所廃棄物の再資源化 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別によるリサイクル率向上 ・両面コピー・裏紙使用の徹底、電子メール活用によるペーパーレス化 ・封筒の再利用 ・使用済みのトナーカートリッジのリサイクル 建設廃棄物の再資源化 <ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストによる適正処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所 裏紙使用、紙類・段ボールの分別が徹底できた。 エコキャップ運動に全従業員で取組んでいる。 ・現場 マニフェストでの適正管理ができた。 <p>工事内容により変化はあるが、今後も再資源化に取り組んでいく。</p>
・排水量の削減	
水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼びかけ ・漏水の定期点検 ・トイレの大小レバーの使い分け ・食器洗浄時、桶などに水をためて洗う 	<p>井戸水を利用している。 使いすぎると枯れてしまうので、節水を徹底する。</p>
・その他 環境への取り組み	
環境美化活動・環境配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な事務所周辺の清掃活動 ・工事現場周辺の清掃活動 ・低騒音・低振動重機の使用 化学物質の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の把握・適正管理 再生建設資材の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品の積極的購入 ・RC40等リサイクル材の利用 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ運動 ・エコドライブの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動 定期的に花壇整備や現場内の清掃を行うことができた。 ・化学物質の適正管理 2024年度の利用はなかったが、利用時はSDSを業者に請求し、化学物質を適正に把握できている。 ・再生建材資材の利用促進 現場では、RC40等のリサイクル材を率先して利用できた。今後も率先し利用する。 ・その他 エコ通勤、エコドライブを実施している。 エコキャップは、11,200個集めることができ業者に送った。 今後も継続していく。

7-③.次年度の環境経営目標

作成日 2025年5月20日

作成者 青木 幹男

項目		年度	2022年度～ 2024年度平均	2025年度	2026年度	2027年度
			基準年度	基準年度比-1%	基準年度比-2%	基準年度比-3%
①電気使用量の削減 kWh			12,939	12,810	12,680	12,551
②化石燃料の削減	ガソリン使用量の削減 ℓ	事務所	4,939	4,890	4,840	4,791
		現場	12,157	12,035	11,914	11,792
	軽油使用量の削減 ℓ	現場	16,014	15,854	15,694	15,534
	灯油使用量の削減 ℓ	事務所	3,408	3,374	3,340	3,306
二酸化炭素総排出量の削減 kg-CO ₂			94,977	94,027	93,077	92,128
廃棄物の削減	事務所廃棄物の削減 kg		145	144	142	141
	建設廃棄物の再資源化 %		93%以上	93%以上	93%以上	93%以上
水使用量の削減 m ³			54	54	54	54

※ 2022年度から2024年度までの3年間で基準年度比3%の削減を目指す

※ 建設廃棄物の再資源化、水使用量は現状レベルの維持とする。

※ 年度は、当年4月1日～翌年3月31日（例:2025年度は、2025年4月1日～2026年3月31日）

※ 電気使用量のCO₂ 排出係数は中部電力(株)2019年度調整後排出係数0.426(kg-CO₂/kWh)

※ 化学物質の適正管理、再生建設資材の利用推進(発注元の要望)、地域貢献活動への参加は数値目標は定めない。

7-④.次年度の環境経営計画

方針	目 標			担当責任者	参加者	実施項目	2025年度												備 考
							04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	
二酸化炭素排出量削減	電力量の削減			環境事務局	全従業員	クールビズの推奨												気温が上がる6月頃から実施	
	<small>基準 2022年度～2024年度平均</small>	削減率	12,939 kWh		全従業員	休憩時、不要照明の消灯													午前・午後・お昼の休憩時間
	2024年度実績		13,189 kWh		全従業員	夏場のエアコンの設定温度28℃以上													冷房設定温度の管理の徹底
	2025年度目標	削減率 -1%	12,810 kWh		事務所	うち水、緑のカーテン													ゴーヤによる緑のカーテン
	2026年度目標	削減率 -2%	12,680 kWh		事務所	休憩時等不使用時の電気製品電源オフ													使用しない物は電源オフ
	2027年度目標	削減率 -3%	12,551 kWh		事務所	エアコンのフィルター清掃													年に2回清掃する
	※電気使用量のCO ₂ 排出係数は中部電力(株)2019年度調整後排出係数0.426 (kg-CO ₂ /kWh)				事務所	冬場の暖房の設定温度20℃以下													暖房設定温度の管理の徹底
	化石燃料の削減				環境事務局	全従業員	アイドリングストップ、冷暖房の控えめ使用												エコドライブの実施
	<small>基準 2022年度～2024年度平均</small>	削減率	36,518 L	全従業員		低排出ガス対策型の使用													重機使用時、低排出ガス対策型を使用
	2024年度実績		42,505 L	全従業員		エコドライブの推奨													ふんわりスタート、アイドリングストップ
	2025年度目標	削減率 -1%	36,153 L	全従業員		石油ストーブの設定温度20℃以下													温度設定の管理の徹底
	2026年度目標	削減率 -2%	35,788 L	全従業員		ウォームビズの推奨													寒いと感じたら実施
	2027年度目標	削減率 -3%	35,422 L	全従業員		現場事務所の石油ストーブを休憩時間以外停止													休憩時以外実施
	※事:基(8,347) 現:基(28,171)																		
廃棄物の削減	事務所廃棄物の削減			環境事務局	全従業員	ごみの分別によるリサイクル率向上												分別の徹底	
	<small>基準 2022年度～2024年度平均</small>	廃棄物量	145 kg		全従業員	両面コピー・裏紙使用の徹底、電子メール活用によるペーパーレス化												裏紙使用の実施	
	2024年度実績		138 kg		全従業員	印刷前に間違いがないかプレビュー確認												コピー用紙の削減	
	2025年度目標	削減率 -1%	144 kg		環境事務局	使用済みのトナーカートリッジのリサイクル												業者へ送る	
	2026年度目標	削減率 -2%	142 kg		環境事務局	封筒の再利用												再利用の実施	
	2027年度目標	削減率 -3%	141 kg																
	建設廃棄物の再資源化			環境事務局	全従業員	マニフェストによる適正処理												産廃発生時、適正処理	
	2024年度実績	再資源化率	98 %																
	2025年度目標	削減率 -1%	93 %以上																
	2026年度目標	削減率 -2%	93 %以上																
2027年度目標	削減率 -3%	93 %以上																	
排水量の削減	水使用量の削減			環境事務局	環境事務局	節水の呼び掛け												出しっぱなし、大量使用しない	
	<small>基準 2022年度～2024年度平均</small>	水使用量(維持)	54 m ³		全従業員	漏水の定期点検												月1回点検	
	2024年度実績		58 m³		全従業員	トイレの大小レバーの使い分け												常時実施	
	2025年度目標		54 m ³		事務所	食器洗浄時、桶などに水をためて洗う												休憩時	
	2026年度目標		54 m ³																
	2027年度目標		54 m ³																
その他	環境美化活動			環境事務局	全従業員	定期的な事務所周辺の清掃活動												年に4回程度	
					現場	工事現場周辺の清掃活動												工事施工中、終了後	
	化学物質の適正管理				全従業員	低騒音・低振動重機の使用												特定建設作業の場合提出	
	グリーン商品購入の促進				全従業員	科学物質の把握・適正管理												使用時にはSDS等を請求し把握する	
	再生建設資材の利用推進				全従業員	グリーン商品の積極的購入												グリーン商品の優先的に購入	
					全従業員	RC40等リサイクル材の利用												RC40等リサイクル材の利用	
					全従業員	エコキャップ運動												集めたキャップは業者に送る	
			全従業員	エコドライブの推奨												通勤時、日常で実施			

※ 3ヵ年計画を維持し、環境経営計画も維持する。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

内容・遵守確認 2025年5月1日

確認者 青木 幹男

項目	関連法律	当社の主要な対応	遵守確認
騒音	騒音規制法	低騒音型の機械装置を使用 原則、作業敷地の境界線においては、85デシベル以下で施工 特定建設作業の場合、知事又は市町村長へ7日前までに届出（作業時間に注意） 公安委員会の交通規制に協力	適正
振動	振動規制法	低振動型の機械装置を使用 振動：原則。作業敷地の境界線においては、75デシベル以下で施工 特定建設作業の場合、知事又は市町村長へ7日前までに届出（作業時間に注意） 公安委員会の交通規制に協力	適正
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 廃棄物処理法	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 マニフェストによる適正な処理及び管理 適切な分別、運搬車両への表示 廃棄物の減量への努力（保管施設を設置する場合は愛知県及び豊田市に届出必要） 産業廃棄物委託先の公開情報確認 処理場の現地確認 豊田市外から豊田市内への廃棄物の搬入時、30日前までに届出	適正
リサイクル	建設リサイクル法 資源有効利用促進法 自動車・容器包装・家電リサイクル法	あいくる材の率先利用 愛知県建設副産物リサイクルガイドライン準拠 （公共工事：特定建設資材計画・届出作成）	適正
		事業所の特定家電の適正な廃棄処理	—
悪臭	悪臭防止法	環境クレームが発生した時は苦情処理報告書により処理する	—
土壌・地下水汚染	土壌汚染対策法 水質汚濁防止法	オイル漏れは緊急対策手順に準拠 （特定有害物質は愛知県土壌汚染等対策指針の手順に準拠）	—
		知事による指定区域内での土地の形質変更は、着手14日前に知事に届出	—
水質汚濁	水質汚濁防止法 河川法	オイル漏れは緊急対策手順に準拠（特定有害物質は愛知県土壌汚染等対策指針の手順に準拠）	—
		土粒子を含む水のくみ上げでは、泥砂・ろ過施設等を経ての排水（路面放出禁止）	—
		公共用水域の水質保全に心がける	—
大気汚染	大気汚染防止法 自動車排ガス特措法 道路交通法	石綿含有産業廃棄物の飛散防止（作業時の確実な安全装備装着）	—
		エコドライブ運転の率先	適正
		アイドリングストップ	適正
		低燃費車の導入	適正
フロン排出抑制法	業務用エアコンの専門業者による定期点検	修理廃棄時には、登録業者に委託	—
		フロン漏えい簡易定期点検・定期点検の実施と記録	適正
地盤沈下	建築物用地下水の採取の規制に関する法律	井戸水の適正管理	適正
マネジメント	環境基本法 循環型社会基本法 グリーン購入法	グリーン購入法適応物品の率先購入	適正

- ・ 環境関連法規への違反はありませんでした。
- ・ —は当該年度該当ありません。
- ・ 近隣住民等からの環境に関する苦情、指摘などはありません。
- ・ 過去3年間、法令違反はありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

◇個別項目ごとの確認

- ・環境経営方針
現時点では変更点はなし
- ・環境経営目標及び環境経営計画
直近の3年程度の実績値を基に進めていく
2024年度は、事務所の社用車が軽油車からガソリン車に変更になりました。
次年度からは、事務所の軽油の実績がなくなるので軽油とガソリンの目標値を検討する。
- ・実施体制
変更点なし

◇全体コメント

エコ活動は一人一人の心がけが大事なので、意識をもって活動していきたい

10. エコ活動内容

I 環境美化活動

地元集会所の花壇の草取りを実施。例年は花を植えていましたが害獣による被害で花がなくなってしまうので実施しませんでした。



II ゴーヤによる緑のカーテン、エコドライブの推進、節電・節水の呼びかけ

夏季高温時において、太陽光の遮断と断熱をし、エアコンの消費電力を少なくします。植物が根から吸った水分を葉から蒸散させ建物の温度上昇を抑えることができます。また、事務所周りのアスファルトへ打ち水も行いました。



III エコキャップ活動

ペットボトルのキャップを集め、子供たちのワクチン購入に充てる活動に参加しています。2024年度(2024年4月～2025年3月)に集めたキャップをエコキャップ回収事業者団体へ送りました(28kg(約11,200個集めることができました))



エコキャップ2kg(約800個)でポリオワクチン1人分になります。